

議員提出議案第2号

令和6年能登半島地震の復旧・復興を最優先することを求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

令和6年3月15日提出

むつ市議会議長 富岡幸夫 様

提出者

むつ市議会議員	杉	浦	弘	樹
同	高	橋	征	志
同	佐	藤		武
同	工	藤	祥	子
同	野	中	貴	健
同	佐	藤	広	政
同	東		健	而
同	佐	賀	英	生
同	大	瀧	次	男

令和6年能登半島地震の復旧・復興を最優先することを求める意見書

令和6年能登半島地震では、すでに多くの死傷者を出しているうえ、現在も行方不明者が多数おり、いまだ被害の全貌が見えない極めて深刻な状況にあります。

また、建物や家屋の倒壊・損壊、がけ崩れや道路の崩壊等各種インフラ被害、さらには上下水道や通信などのライフラインの不通など、物的被害は極めて甚大かつ広範囲に及んでおり、震災からの復旧・復興には莫大な時間とコストを要することが予想されます。

一方、大阪・関西万博の関連工事では、パビリオン等の建設スケジュールの大幅遅れが指摘されており、来春の開幕に間に合うかどうかまさにぎりぎりの状況にあります。こうした中で、仮に万博関連工事にこれまで以上の大量の人員、重機、資材などを投入することになれば、被災地の復旧工事にしわ寄せがいくことが強く懸念されます。

なにより、建設人材の不足が震災復興の妨げとなることは断じてあってはならず、もし万博関連の計画が予定通りに進まないのであれば、計画を変更するなど柔軟に対応することが必要であります。政府は、能登半島地震の被災地での人命を最優先するとともに、被災者の生活と生業の回復、被災地の復旧・復興を加速させ、被災地関連事業を最優先させることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和 年 月 日

むつ市議会議長 富岡 幸夫

意見書提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣、経済産業大臣、
国土交通大臣 宛